



ムクゲ

ワイズ行政ニュース

編集発行人

行政書士法人

ワイズコンサルティング

〒104-0061

東京都中央区銀座1-8-21

中央ビル5F

TEL 03 (3567) 3071

FAX 03 (3567) 3078

10月

(神無月) OCTOBER

12日・体育の日

日	月	火	水	木	金	土
.	.	.	.	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

ワンポイント 寡婦(夫)控除のみなし適用

地方自治体が、利用者の所得に応じて保育所の保育料や公営住宅の家賃などの減額をする際、「配偶者と死別または離婚」という要件に該当しない既婚歴のない一人親に対して、税法上の寡婦(夫)控除のみなし適用して所得の算定をする制度。不平等解消のため、採用する地方自治体が増えています。

10月の税務と労務

- 国 税 / 9月分源泉所得税の納付 10月13日
- 国 税 / 特別農業所得者への予定納税基準額等の通知 10月15日
- 国 税 / 8月決算法人の確定申告 (法人税・消費税等) 11月2日
- 国 税 / 2月決算法人の中間申告 11月2日
- 国 税 / 11月、2月、5月決算法人の消費税等の中間申告 (年3回の場合) 11月2日
- 地方税 / 個人の道府県民税及び市町村民税の第3期分の納付 市町村の条例で定める日
- 労 務 / 労働者死傷病報告(7月~9月分) 11月2日
- 労 務 / 労災の年金受給者の定期報告 (7月~12月生まれ) 11月2日
- 労 務 / 労働保険料第2期分の納付 11月2日 (労働保険事務組合委託の場合は11月16日)

FX

外貨の取引のひとつにFX(外国為替証拠金取引)があります。

外貨預金は、売買する外貨に相当する日本円を用意する必要があります。一方のFXは証拠金を準備することで、その証拠金の何倍もの取引を行うことができます。これをレバレッジといいます。実際に取引に必要な証拠金は、FX取引をする業者によって異なります。

FXのもう一つの特徴にスワップポイントがあります。スワップポイントは、低金利の通貨を売って高金利の通貨を買ったときの金利差のことで、外貨預金の利息のようなものにあたります。利息と違うところは、高金利の通貨を売って低金利の通貨を買った場合には、スワップポイントの支払が生じるということです。

FXはレバレッジによって証拠金の何倍もの取引を行うことができるので大きな利

益を得ることができるという魅力がありますが、逆に損失が発生した時も巨額になるリスクがあります。損失が大きくなると、最低限必要な証拠金を割り込んだり、損失が証拠金を上回ったりすることがあります。取引業者は、証拠金が一定の水準を割り込んだ時点で警告を發します。これをマージンコールといいます。

マージンコールを受けた場合は、証拠金を追加するか含み損が生じている取引を決済する必要があります。もしマージンコールを發せられても何も対応しないと、業者によって強制的に決済されることもあります。

FXで利益を得た場合、雑所得に該当します。一定の金額以上の利益が出たら確定申告が必要になります。

平成21年1月からは、FX等に関する資料情報制度が整備され、支払調書が税務署に提出されるようになっていきましたので、FXで利益を得た場合は適正に申告を行いましょう。

HDDとSSD

パソコンなどのデータを記憶する装置にHDDとSSDがあります。

HDD(Hard Disk Drive)は、高速で回転するディスクに数ミクロンというわずかな隙間で浮いているヘッドを用いてデータを記憶します。駆動時に動作音や振動が発生します。

SSD(Solid State Drive)は、フラッシュメモリを用いた記憶装置です。駆動部分がないので動作音が発生しません。主にスマートフォンやタブレットPCに使われています。

HDDはSSDに比べて大容量のデータ記憶に対応していることや単価が安いという特長があります。サーバーのように常時稼働させるような場合も、HDDのほうが向いています。

一方、SSDは、処理速度が高速であることや、衝撃や振動に強いといった特長があり、目的に合わせて選択するのが良いでしょう。

ドローン

今年、何かと話題になったドローン。もともと軍事目的で開発されたものですが、最近では商業や民間で利用されています。ドローンは回転翼を複数搭載し、無人で飛行することができ、ラジコンヘリも無人航空機の一つですが、ドローンはGPSが搭載されていて自律飛行ができます。

撮影したり、宅配や農薬散布などに利用したりと、最近では様々な場面で活用されています。一方で、首相官邸の屋上でドローンが発見されたり、ロサンゼルス山火事ではドローンによってヘリが消火活動できなかつたりといった事態が生じています。

政府や自治体では、飛行禁止区域を設けるなど、ドローンに対して規制する動きが進められています。

観光立国実現に向けた アクション・プログラム…

観光は、経済成長や地域活性化を支えるための重要な成長分野として位置付けられています。また、外国との相互理解を深めるためにも観光立国の推進は求められています。そのような背景から、平成25年に「観光立国推進閣僚会議」が発足し、観光立国の実現に向けたアクション・プログラムの策定と観光立国の実現に向けた取り組みが進められてきました。

旅行者数の推移……………

閣僚会議が発足する前は、訪日外国人旅行者数は年間約800万人ほどでしたが、一昨年に観光立国推進閣僚会議が発足し年間1,000万人を目標に取り組みを行ってきました。結果、目標を達成したことを受けて、この勢いを継続する機運が高まりました。2014年に策定された「アクション・プログラム2014」の取り組みもあって、2014年の旅行者数は1,300万人を上回るまでに増加しました。今年も旅行者数は増加し続けており、2015年4月までの4ヶ月間は対前年同月比で約44%増加しています。

2013年に史上初めて訪日外国人旅行者が1,000万人を達成したことから、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて訪日外国人旅行者数2,000万人を目指すという目標が、2014年1月に決定されました。

観光立国実現に向けて



目標達成のための取組……

訪日外国人旅行者を増やすための、様々な取り組みが始まっています。

例えば、地方ごとに数値目標を定め地方空港やその周辺の観光地の魅力を発信することで、一定の地域に集中している訪日外国人旅行者を地方へ誘客することや、春の桜や秋の紅葉、冬の雪シーズンの魅力をPRすることで、訪日のピークである夏シーズン以外の季節での訪日需要を創出することが検討されています。また、日本の文化や歴史に高い関心を示しているものの十分に取組みしていない国や地域に向けたプロモーション戦略の見直しも行われています。

出入国時の混雑緩和のため、出入国審査スペースやチェックインカウンターなどの増設・拡張といったターミナルの整備も進められます。2016年度までに空

港での入国審査に要する時間を20分以下に短縮することを目標としています。またビザの発給要件の緩和も進められています。

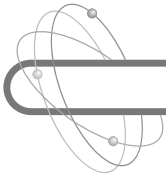
空港や港湾だけではなく、そこから先の交通手段として鉄道や高速バスなどの整備や宿泊施設の供給を確保することで、外国人が安心して観光できる環境を整えます。

今後の目標……………

2014年の訪日外国人による旅行消費額は、2兆円を超えました。これは閣僚会議発足前と比べると約1兆円の増加になっています。訪日外国人旅行者による消費を意味する「インバウンド消費」という言葉がありますが、今ではインバウンド消費が日本経済を支えるようになっていきます。今後の観光政策についてもインバウンド消費に重点を置き、訪日外国人旅行者が2,000万人に達する年には旅行消費額4兆円を目指しています。

訪日外国人の数は現在も伸び続けており、目標である年間2,000万人の実現は目途が立ちつつあります。2020年は重要な年ではあるものの通過点として捉えて、さらには年間3,000万人が訪れるような国づくりを目指しています。

観光立国の実現には訪日外国人の数だけ注目するのではなく、地域経済の活性化や観光立国の意義といった理解を深めることで、質の高い観光立国を目指す必要があるでしょう。



高次脳機能障害



交通事故などの大きな事故が起こると、身体の機能が重大な影響を及ぼすことがあります。高次脳機能障害もそのひとつです。

高次脳機能障害とは

脳が損傷することによって、記憶力や集中力に障害が生じたり、異常な行動をしたりといったことが生じることがあります。このような症状を「高次脳機能障害」といいます。

高次脳機能障害の発症原因で最も多いのは、脳梗塞やくも膜下出血といった脳血管障害です。次いで多いのが、交通事故や転落事故によって頭に強い衝撃が加わることで、脳や脳の神経線維が傷つく「外傷性脳損傷」です。さらに、脳炎や低酸素脳症なども原因として挙げられます。

主な症状

高次脳機能障害者には、記憶障害や注意障害・遂行機能障害・社会的行動障害などの症状がみられます。

具体的には、約束の時間に間に合わなかったり、何度も繰り返し同じ質問をしたり、どの仕事も途中で投げ出してしまうといった行動があらわれます。失語や麻痺といった症状もありますが、その人自身の個性なのか病気によるものなのか、外見上は分かりにくい症状

も多くあります。

診断のポイント

高次脳機能障害の診断には、頭部のMRI・CTや脳波・脳血流といった画像による検査と、記憶検査や遂行機能検査などの神経心理学的検査、問診や行動観察が行われます。これらの検査の結果、高次脳機能障害の原因となる疾病の発症や事故による受傷の事実があり、画像検査によって脳の器質的な病変が確認され、さらに記憶障害や社会的行動障害などによって日常生活や社会生活に制約が生じている状態にあると、高次脳機能障害と診断されます。

ただし、記憶障害や社会的行動障害などの症状が発症・受傷以前から生じていると診断されたときや、先天性疾患や発達障害などが原因とされる場合は除外されます。

訓練方法

高次脳機能障害と診断された場合、発症や受傷からの期間や目標によって、①医学的リハビリテーションプログラム（以下「医学的リハビリプログラム」）、②生活訓練プログラム、③職能訓練プログラムが行われます。

訓練は、病院や専門の施設によって実施されます。医学的リハビリプログラムは医

師の指示によって、生活訓練と職能訓練は生活指導員や職能指導員によって行われます。その他、作業療法士や言語聴覚士などの専門家が訓練に関わります。医学的リハビリプログラムの途中であっても、必要であれば生活訓練や職能訓練に移行することや、逆に生活訓練や職能訓練を行った結果、医学的リハビリプログラムを受けることもあります。

対応方法

高次脳機能障害の症状は、脳が損傷した場所によって異なります。その場の環境や対応する相手によっても症状の現れ方が異なることもあります。環境を整えることや対応の仕方を工夫することで、問題行動が減ることもあります。

高次脳機能障害の人には、以前と変わってしまったたり今までできていたことができなくなったりという変化が生じます。家族や周囲の人はこれらの変化を理解することが重要です。そして、行動をパターン化して日課通りに行動するにしたり、ノートやスケジュール帳、タイマーなどを活用して失われた脳の機能を助けたりといった対応が必要です。適切な対応方法が続けることは根気があることなので、忍耐力を持って接することが大切です。